



コンビネーション予防の時代 個人ができること

これまではコンドームが主な予防方法でしたが、現在ではさまざまな予防方法とその組み合わせを利用することができます。

コンドーム

HIVだけでなく他の性感染症もかなり防ぐことが可能。PrEPのように前もって準備をする必要もなく、安価に入手できる。

PrEP

HIV感染リスクをほぼゼロにできるが、他の性感染症を防げない。HIV陰性と確認できている人のみが利用可能。HIV検査などとセットで行う必要がある。

U=U

HIV検査で陽性とわかったら、適切な治療をしてウイルス量を検出限界未満の状態を続けることで、セックスの相手に感染しない状態になれる。

定期的なHIV検査

HIV陰性でもHIV陽性でも、自分の今の状態を早めに知ることが、いままで以上に重要！**HIV検査がどの予防方法を選択するかを考える出発点**になるからです。

HIV陽性的場合



継続的な治療でU=Uを目指すことができる

HIV陰性的場合



PrEPを含めた予防の組み合わせを検討できる

陽性が陰性かわからない場合



U=Uを目指せないしPrEPも使えない。コンドームを使うことができる

ツールを生かす

- コンドームとローション
- PrEPとPEP
- 定期的なHIV検査
- すべてのHIV陽性者の治療成功(U=U)

環境を変える

- HIV検査を受けやすくする
- 治療を受けやすくする
- スティグマや差別を減らす
- マイノリティの人権を守る法整備

コンビネーション予防

行動を支える

- 相談やカウンセリング
- 包括的な性教育
- 性の健康の増進プロモーション

combination!

コンビネーション予防とは？

ツールを生かす 環境を変える 行動を支える
といった複数のHIV予防を組み合わせ、
個人〜社会全体で効果的に予防が進むよう
に取り組んでいこうという考え方のことです。

検査・治療を受けやすい環境作り、HIVやセクシュアルマイノリティ等のスティグマ軽減、相談や性教育の機会を適切に設けることなども重要なHIV予防の要素です。

